

身のまわりにある
ユニバーサルデザイン

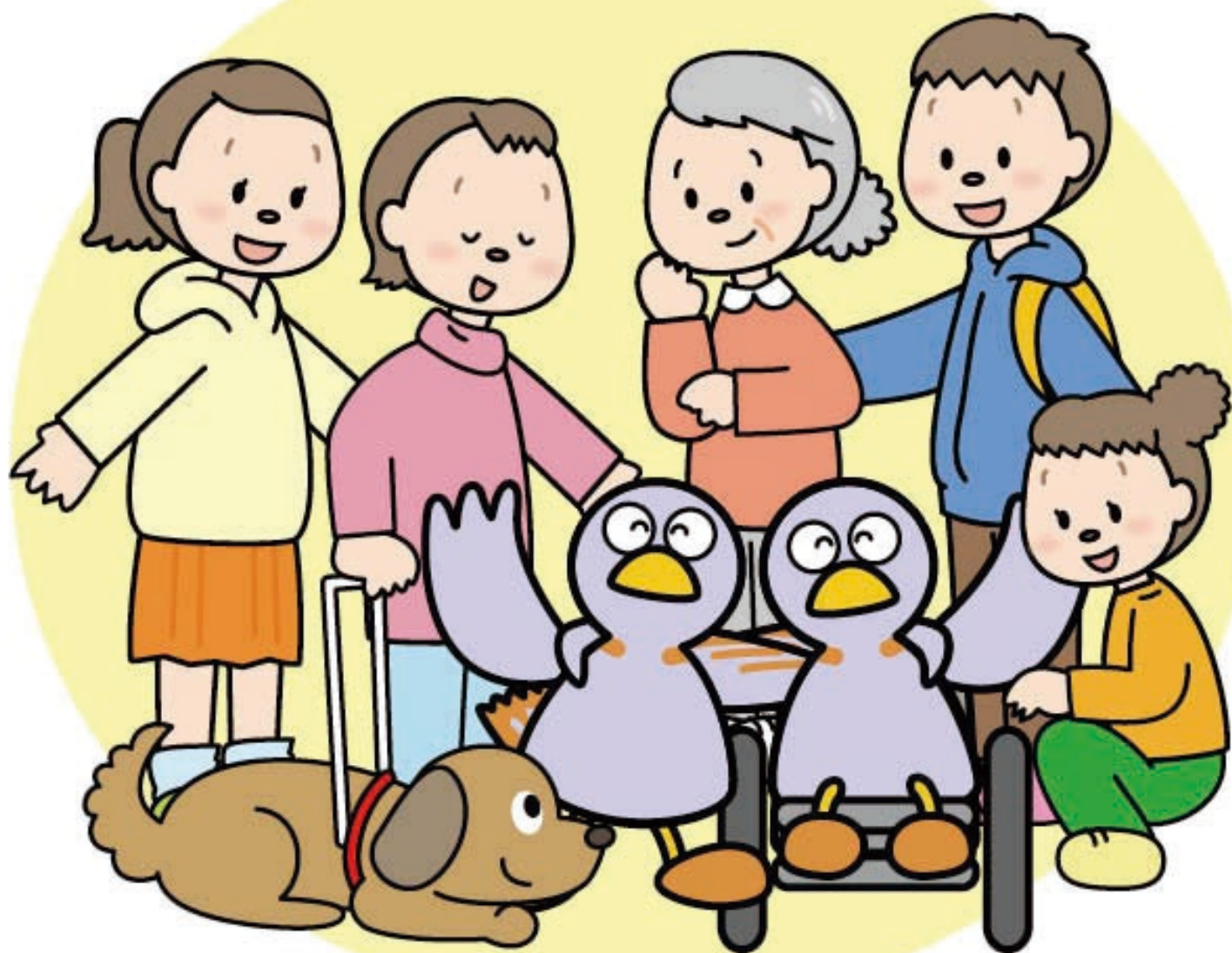
移動の
ユニバーサルデザイン

まちの中の
ユニバーサルデザイン

施設の
ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザイン

みんなの思いやりを形に表して、
だれもが安心・安全に生活できる埼玉へ



暮らしの中のいろんなユニバーサルデザインについて考えてみました。

埼玉県ユニバーサルデザイン 推進基本方針の概要



どうして埼玉でユニバーサルデザインを進めるのか

- ◆ 全国有数の若い県だからこそ、今後、大きな^{へんぼう}変貌^とを遂げることができます。
- ◆ 国際化により国籍、言葉、文化の違う県民がたくさんいます。
- ◆ 福祉のまちづくりから新たに^{てんがい}展開してきています。
- ◆ 資源の有効活用^{しげん ゆうこうかつよう}のため、^{すえなが}末永く使える施設、物（製品）などが求められています。
- ◆ 人々の心の結びつきが強い、思いやりのある社会が求められています。



ユニバーサルデザインでねらうもの

- ◆ ユニバーサルデザインの視点で物事を考え、見直す^{きうん}気運を育てていきます。
- ◆ あるひととき、ある場所だけでなく、^{れんぞくてき}連続的に暮らしやすいまちを目指します。
- ◆ まちづくりや物（製品）づくりへの住民参加を進めます。
- ◆ ^{たよう}多様な個人を^{そんちよう}尊重し、住んでいる人にも訪れる人にも心地よい埼玉県にします。



ユニバーサルデザインを進めるための手だて

- ◆ みんなで進めるユニバーサルデザイン（教育の推進、県民運動への^{はつてん}発展など）
- ◆ 安全、安心して移動^{いどう}できる環境づくり（公共交通機関^{こうこうきかん}の整備^{せいび}、歩道の整備など）
- ◆ だれにもやさしいまちづくり（楽しめる公園の整備、安心・安全な住まいづくりなど）
- ◆ 訪れる人に配慮した施設づくり（建築物の整備、教育施設・警察施設の整備など）
- ◆ いきいき豊かな暮らしづくり（製品開発^{かいぱつ}、垣根^{かきね}のない商店整備への支援など）

音声コード



活字文書読み上げ装置で情報を
音声で聞くことができます

? ユニバーサルデザインとは？

■すべての人のためのデザインです。

年齢、性別、能力^{のつりよ}の違いなどにかかわらず、さまざまな人に配慮^{はいりよ}して、はじめからすべての人が利用しやすいまち、施設、物（製品）、環境、サービスなどをつくらうとする考え方です。

? バリアフリーとは違うの？

■目指している目標^{もくひょう}は同じです。

バリアフリーは、生活をしていく上でのさまざまなバリアー（障壁^{しょうへき}）を取り除いていこうとする考え方。ユニバーサルデザインは、さまざまな人が利用しやすいように、はじめからバリアー（障壁）をつくらないようにする考え方。でも、バリアフリーもユニバーサルデザインも、すべての人が暮らしやすい社会をつくらうとしている点で、目指している目標は同じです。

? どうしてユニバーサルデザインを進めるの？

■自分のためにです。

今、すべての人が利用しやすいまち、施設、物（製品）などをつくっていくことは、自分のためにもなります。人は必ず老いていきます。また、今は健康な人でも、いつ障害を持つことになるかわかりません。そうした時のことも考えて、今から進めていくことが必要です。

? どのように進めるの？

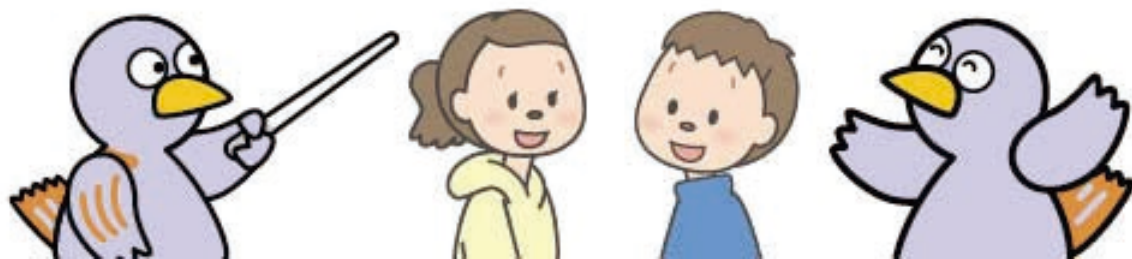
■「思いやり」を形に表していくことです。

ユニバーサルデザインは、「思いやり」を形に表していくこととも言えます。県民のみなさんが、思いやりの心を持ち、それを形に表していくことで、だれもが自由に活動し、いきいきと豊かに生活できる社会へと近づいていきます。県では、その考え方を基本方針としてまとめています。

音声コード



活字文書紙上げ装置で情報を
音声で聞くことができます



身のまわりにあるユニバーサルデザイン

身のまわりの中にも、
ユニバーサルデザインはたくさんあります。



画びょう

針を落としたときに上を向かず、指先に直接触れにくくなっています。また、抜くときに力がいらしません。



ペットボトル

ペットボトルを持ち上げたときに指先が安定しやすいようにくぼみがついています。



ハサミ

片側のハンドルが円形でないため様々な握り方ができます。また、ハンドルに厚みを持たせて手の負担を軽くしています。



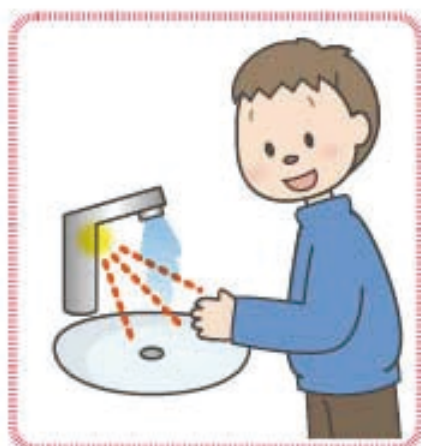
消しゴム

カドがたくさんあるので、いつでも細かな部分を消すことができます。



じゃぐち

センサーに触れると水が出たり止まったりして、じゃぐちをまわす必要がありません。



移動のユニバーサルデザイン

人がいきいきと豊かな生活をおくるためには、自由に移動できることが大切です。



ノンステップバス

車いすの人やお年寄りだけでなく、みんなが乗り降りするのに楽です。



高さの違うつり革かわ

自分にあった高さのつり革かわを利用することができます。



ホームドア

目の不自由な人や子どもなども線路に落ちる心配がありません。



電動アシスト自転車

電気の力を利用して楽にペダルをこぐことができます。



手すりが二段ある階段・スロープ

自分に適した高さの手すりを利用することができます。



これ(みんなで作っていきましょう!)

UD

まちの中のユニバーサルデザイン



みんなが住んでいるまちの中には、どんなユニバーサルデザインがあるか探検してみよう。

自動販売機

お金の投入口が広く入れやすくなっています。また、みんなが使いやすいように最上段の飲み物は中央のボタンでも購入することができます。



付加装置付き信号機

青信号の切り替わり時間が光で確認できます。また、青信号の時間帯を音でも教えてくれます。



通行しやすい歩道

平らで歩道の幅が広い
ため、すれ違いやすくなっています。



段差のない入口

建物の入口に高い段差がないため入りやすくなっています。



使用状況がわかるトイレ

トイレのドアと他の部分が違う色になっています。また、トイレを使用していないときにはドアが開いており、使用状況がすぐにわかります。



施設のユニバーサルデザイン

UD



羽田空港ターミナルのユニバーサルデザインです。

ゴミ箱

捨てやすい高さのゴミ箱で、回収袋にもイラストが描かれて分別しやすくなっています。



電話台・水飲み台

車いすを利用する人や子どもをはじめみんなが使いやすい高さになっています。



エレベーター

広いスペースで中の様子が確認しやすくなっています。また、音声装置がついています。足をけがしている人、ベビーカーを押している人など、みんなが楽に移動できます。



案内所

案内所が目立つように大きなサインがあります。



案内版

文字情報、点字情報、音声案内があるので、みんなが目的地にスムーズに行くことができます。



音声コード



活字文書紙上げ装置で情報を
音声で聞くことができます

だれでもできる ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインは、物づくりやまちづくりだけでなく、一人ひとりの行動のなかで取り組むことができます。

～階段でのお手伝い～

階段を昇るのに苦労しているなど困っている人を見たら一声かけて手助けをする。

大丈夫ですか？
お手伝いしましょうか？



～席をゆずる～

電車、バスでお年寄りや身体の不自由な人に席をゆずる。



ユニバーサルデザインに配慮した社会の実現のために

埼玉県では、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、お年寄りや障害を持つ方々、これからを担う若い人など、だれもが自由に活動し、いきいきと豊かに生活できる社会を目指しています。しかし、行政の取組には、限界があります。ほんとうに暮らしやすい社会を実現するには、県民の皆さん一人ひとりが主役となって取り組むことが必要です。「思いやり」の心を持ち、日常生活のすべての行動において、「思いやり」を形に表していくことを期待します。



みんなで協力しあって
暮らしやすい埼玉県を創っていきましょう！

埼玉県県民生活部文化振興課

TEL. 048-830-2879 FAX. 048-830-4752

ホームページアドレス <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/saitamakenuniversaldesign/>

e-mail: a2875-03@pref.saitama.lg.jp